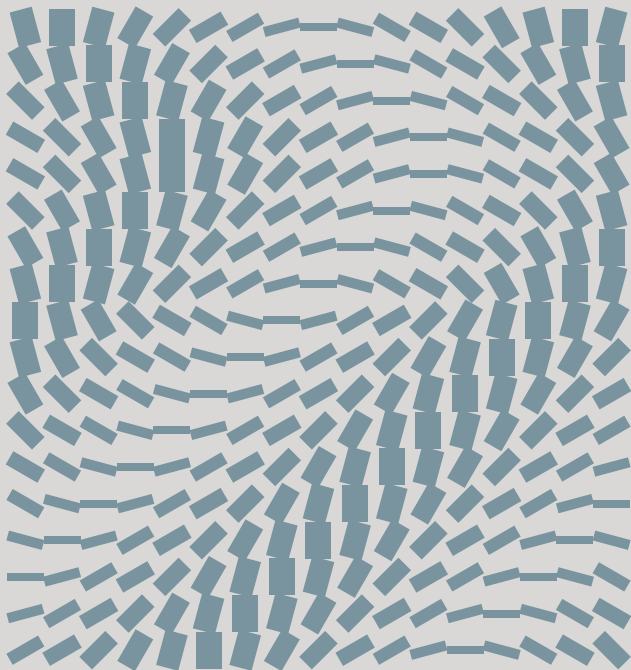




A field guide to  
**CONDOR HIFI**

---



# Table of Contents

---

- 02 **Overview**
- 04 **Setup**
- 06 **Getting Started**
- 08 **Controls**
- 14 **Volume, Gain, Drive**
- 16 **EQ - Bass**
- 18 **EQ - Mids**
- 20 **EQ - LPF**
- 22 **Hidden Modulation**
- 24 **Customize**
- 26 **Ramping**
- 28 **External Control**
- 30 **Bye**
- 32 **EQ Breakdown**



9V DC 電源: 9VDCセンターマイナス ~200mA

## Overview

Condor HiFiを使えば、貴方はどんなところにもフィットします。

常にオンな理想的なトーンを作り上げたり、  
一瞬にマッチするよう形を変えたり、  
またはどんなミックスでも最適な居場所を見つけたり。

貴方を助ける、親切な小鳥のようなペダル。

じゃあその中身は？

Condor HiFiは貴方に必要不可欠な、丁寧にチューニングされたエフェクトたちのコレクションです。サウンド経路は100%アナログ。周波数スペクトラムを分割し、各帯域ごとに独自のEQを適用します。EQは馴染み深いペダル、ミキシングコンソール、シンセサイザーから着想を得ています。そして美しく洗練されたドライブ回路が、すべてをまとめ上げます。

暖かくスモーキーなトーンから、生々しく力強いオーバードライブまで一瞬でアクセス。サビ前まではジャグリーな高域を、そしてソロでは突き抜けるレゾナンスでパンチ。最後はローファイなラジオトーンでセンチメンタルなひとときを楽しもう。

Condor HiFiには代表的な2つのオリジナルからの改善点があります。

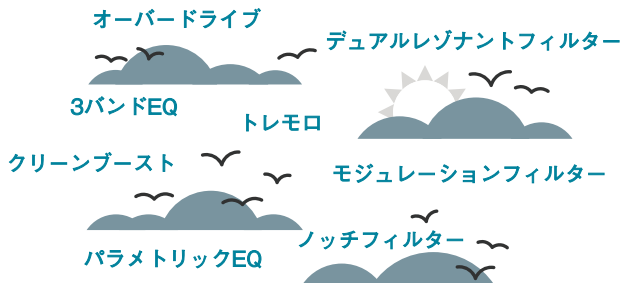
### POWER

Preamp MKIIと同じパワーサプライが使われ、内部で9Vからなんと30Vまで昇圧されます。これにより非常にクリーンなヘッドルームを提供します。

### PARTS

オペアンプによりモダンなOPA1662を使用しました。オリジナルから更に低ノイズ、そしてより高解像度なレスポンスを持っています。

Condor HiFiで達成できるエフェクトはこんな感じ:



それじゃあ学んでいこう。

## Setup

Condorをあなたの環境にセットアップしよう。あなたがペダルについて経験豊富なら、いくつかの項目は飛ばしても大丈夫です。

### POWER

Condorは200mA以上供給可能な9VDCセンターマイナスの電源で動作します。

サプライにはこんなマークがあるはず:

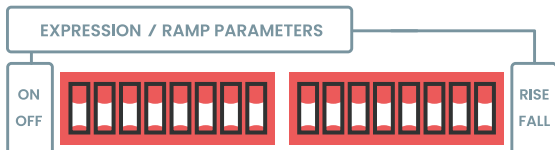


### OPTIONS

Condorにはいくつかのカスタマイズオプションがあり、貴方の要望に合わせて微調整できます。詳しく知りたければ以下をチェックしてください。

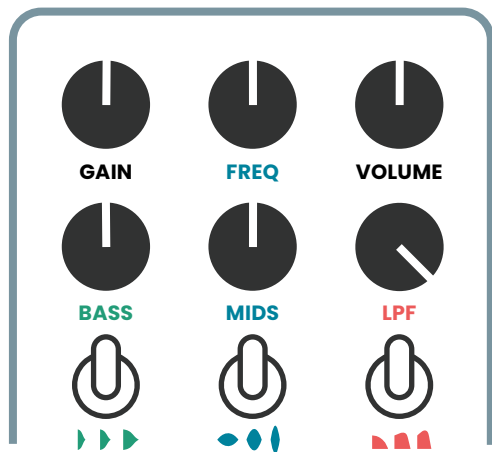
- Customize (pg. 24)
- Ramping (pg. 26)
- External Control (pg. 28)

もしくは、dipスイッチはすべてオフから始めるのが良いでしょう。



**Let's  
get  
started.**

## Getting Started



まずはこの設定から始めよう:

LPFは右回しきり、それ以外すべてのノブは中央に。

この設定に戻れば、いつでもニュートラルなサウンドになります。



次にMIDSノブを上げてFREQノブをしばらく弄ってみよう。貴方の楽器とマッチするナイスな場所を見つけたら、MIDSを下げて好みへ調整しよう。



BASSを少し下げて中域の周波数帯域を更に狭めてみよう。



DRIVEをオンにしてサウンドにエッジを加えよう。焦点のあった美しいオーバードライブトーンが飛び出します。

そうしたらLPFで刺激や強調を加えよう。最小まで下げたら少しずつ上げていき、貴方に合う最適なスポットを見つけよう。



これらの要素のバランスをとり、レイヤリングするように構築するのがCondorの鍵です。役立つ部分はブーストし、不要な部分をカットし、更に強調したいところを見つける。貴方のサウンドを定義すること、貴方を形作るということなのです。

## Controls - General



Boost, drive, save.

**A**

### GAIN

入力信号の増幅量を調整します。特にドライブチャンネルで変化が顕著です。Ramping(p26)が有効のときこのノブは役割が変わり、rampムーブメントのスピードを設定します。

**B**

### VOLUME

ペダル全体の音量を調整します。

**C**

### DRIVE / HOLD

オーバードライブを有効にします。HOLD機能(p25)を割り当てることもできます。

**D**

### BYPASS

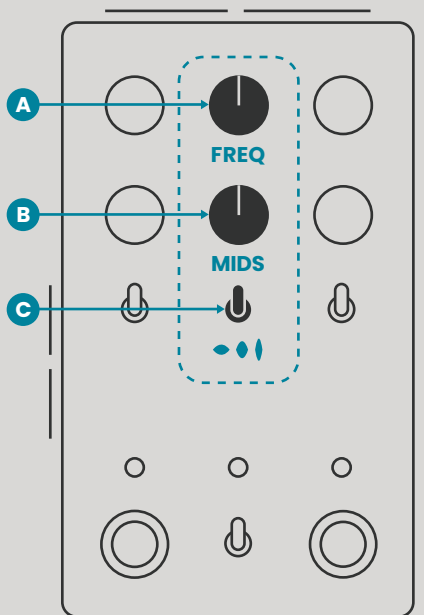
エフェクトのオンオフを切り替えます。トゥルーバイパスかバッファードバイパスから選択可能です (p24)。

**E**

### PRESETS

トグルスイッチ右と左のポジションへプリセットを保存し、いつでも呼び出すことができます。中央はライブ設定で現在のセッティングを反映します。プリセットを保存するには、保存したい方向のフットスイッチを3秒長押しし、押しながらかもう一方のフットスイッチを更に3秒長押しします。保存に成功すると中央のLEDが点滅します。

## Controls - Mids



Shift, cut, emphasize.

A

### FREQ

MIDSノブでカット/ブーストする周波数帯域を選択します。左回しきりで大体150Hz、右回しきりで4kHzを少し超えるあたりになります。

B

### MIDS

FREQノブで選択した周波数帯域を最大18dBまでブースト/カットします。中央の変化なしから右回しでブースト、左回しでカットとなります。

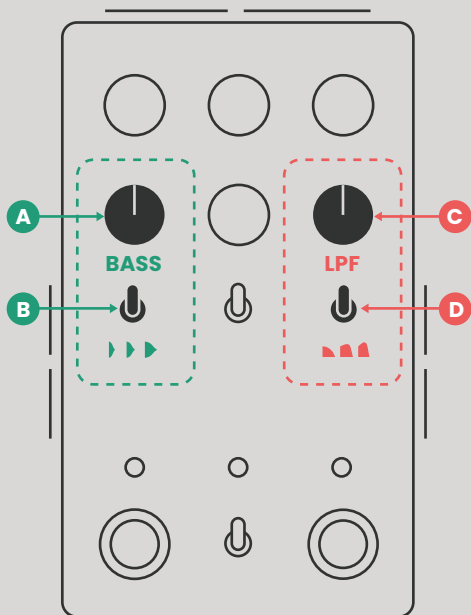
C

### MIDS TOGGLE

中域のブースト/カットで影響する広さと強調具合を変更します。

- 柔らかくメロー、ワイドレンジ
- ◆ 中程度のレゾナンス、中程度のレンジ
- ▾ ヘヴィなレゾナンス、ナローレンジ

## Controls - Bass and LPF



Thin, darken, sweep.

A

### BASS

低域を最大10dBブースト、または最大20dBカットします。中央がニュートラルなサウンド。右回しでブースト、左回しでカットになります。

B

### BASS TOGGLE

BASSノブが影響する帯域レンジを設定します。

- ▶ 低域のみ
- ▶ 低域+ローミッド
- ▶ 低域+ローミッド+ミッド

C

### LPF

ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。右回しきりでフィルターを開き、カットは行われません。左に回していくと高域が少しずつ取り除かれていきます。最小ではすべての帯域がカットされます。

D

### LPF TOGGLE

ローパスフィルターのレゾナンスとスロープを設定します。

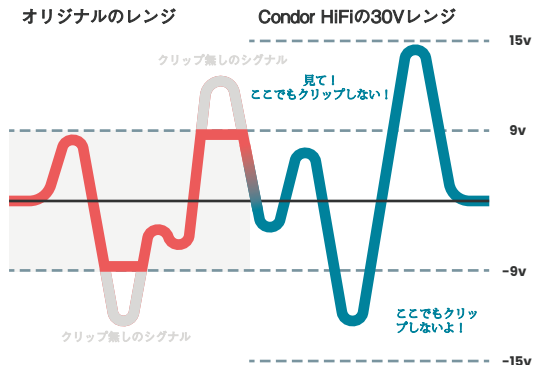
- メロー、トーンノブに近いフィルタリング
- バランスのとれたレゾナンス・フィルタリング
- ヘヴィなレゾナンス・フィルタリング



## Volume, Gain, Drive

Condorでは、貴方のラウドネス（音量とゲイン）を制御するのに様々な手法を組み合わせることができます。

ペダルに入力された信号をブーストするGAINコントロールと、ペダル全体の出力レベルを設定するVOLUMEコントロールから成り立っています。内部で9Vから30Vへ昇圧するユニークなパワーサプライを使用し、非常にクリーンかつ広大なヘッドルームを持っています。これはEQを更にブーストしたり、より強い入力信号を扱うときにも便利です。



VOLUMEを上げつつGAINを下げ目、アンプをプッシュしよう。



GAINを上げつつVOLUMEは下げ目、Condor自身の歪みとザラつきを楽しもう。更にドライブチャンネルもオンにしてみよう。

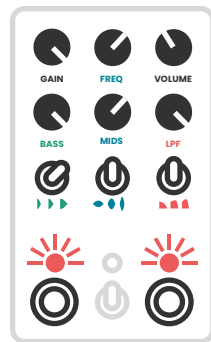


もしくは貴方に最適な2つのパランスを探ってみよう。



更にプッシュが必要な場合は、DRIVEモードへ切り替えてみましょう。

**TIP:**  
CondorのBASSコントロールはゲインステージ前に配置されているので、歪みのブレイクアップの質感の制御としても機能します。



この設定を試してみてください。

## EQ - Bass

CondorにはEQを微調整するための4つのノブと3つのトグルスイッチがあり、それぞれ広大なレンジとレスポンスを持っています。3つのセクションはそれぞれどのコントロールが対応するか、色付きのブロックで分けられています。

Bassセクションは最もわかりやすく、貴方の低域をシンプルにブーストまたはカットします。

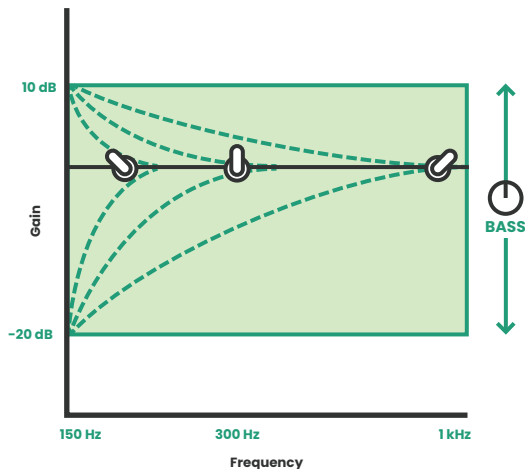
サウンドから濁りを取り除いたり、迫力やヘヴィさを更に加えることもできます。



BASSノブは低域を最大10dBブースト、または最大20dBカットします。



トグルスイッチは周波数スペクトラムがどれだけ影響されるかを設定します。



## EQ - Mids

MidsセクションはCondorを活用するうえで鍵となる部分です。



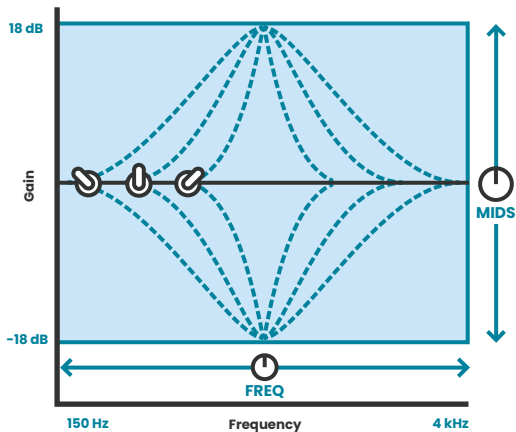
パラメトリックEQのため、どの周波数帯域をコントロールするか自由に設定ができます。これはFREQノブで選択します。



Condorでは選択した帯域を最大18dBまでカットまたはブーストできます。不要な部分を消したり、良い部分に更に焦点を当てるには充分なはず。MIDSはブースト/カット量を決定します。



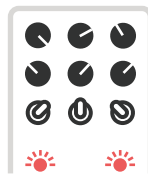
そしてトグルスイッチで、ノブの設定からどれくらい周辺の周波数帯へ同時に影響するかを設定します。EQを狭めるとより強烈にサウンドに影響します。



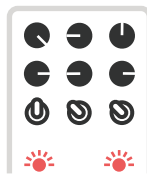
スクープまたはプッシュする最適なポイントを見つけることが鍵です。誰もが愛するオーバードライブトーンを作ったり、またはギターの特徴にマッチさせたりモディファイしたり。またはミックスで際立たせたり、更に空間を作るような魔法の周波数帯を見つけてみよう。



Clean Zing



Bump Drive



Mid Scoop

## EQ - LPF

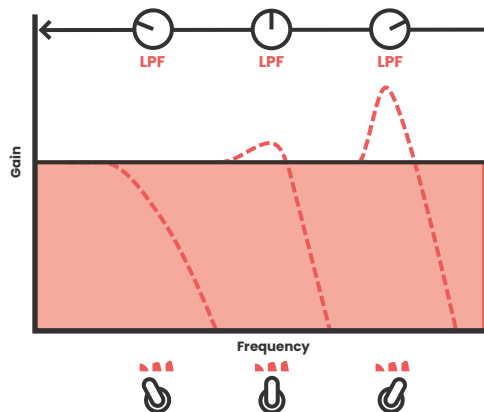
高域をメローに、豊かなキャラクターを追加。ローパスフィルター(LPF)は、良きシンセサイザーの心臓とも言える重要なセクションです。Condorはペダルスタイルではどこでも見つけられない、唯一無二かつファンキーな設計のLPFを搭載しています。

LPFノブを回すとユニークかつ強力なフィルターが掛かり、高域が取り除かれサウンドが舐まれていきます。



LPFノブはフィルターのカットオフ周波数を設定します。ここで設定したポイントは、レゾナンスが強い場合は更に強調されます。そしてそれ以上の高周波帯域は取り除かれます。ノブを左に回すごとに、サウンドはダークになります。

トグルスイッチはフィルターの傾斜とレゾナンスを設定します。LPF自体の強度とサウンドの強調具合に影響します。



例えばシグナルを曇らせたり、



印象的な強調を作ったり、



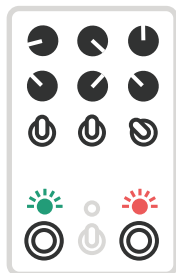
エレクトロニックなキャラクターを付与したり。

## Hidden Modulation

Condorには自由に貴方がセレクト、組み合わせが可能な非常に興味深いモジュレーションが隠されています。これはCondorの複数のノブをランピングさせることで達成されます（貴方がランピングに初めてなら、p26をチェックしてみてください）。

各ノブのランピングは異なる結果となります。例えばVOLUMEは標準的なトレモロ、LPFはディープなオートフィルター、そしてFREQならフェイザーのようなスイープ。そして本当の魔法は複数のノブを組み合わせから始まります。

本当に多くの可能性があります、まずはスタート地点に最適なアイデアをご紹介します。

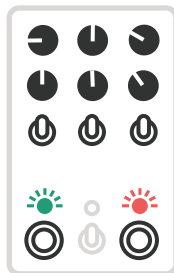


### GOOD VIBES

 BOUNCE, FREQ

 GAIN

FREQノブをバウンスさせてユニヴァイヴ風のエフェクトに。催眠的なうねりを楽しんでみよう。MIDSのトグルスイッチを切り替えて、モジュレーションのキャラクターも縦横無尽に変更してみよう。

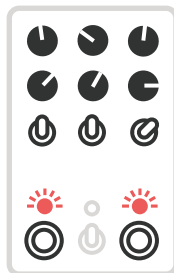


### LILTED TREM

 SWEEP, BOUNCE, VOLUME

 GAIN

Condorのランピングの波形はかなりユニークな性質のため、トレモロはわずかにピッチの上下が混ざるといった心地よいキャラクターとなります。



### STREET SWEEPER

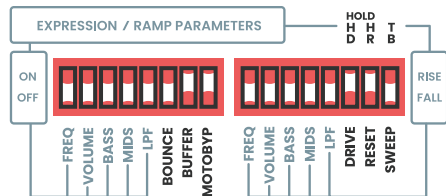
 DRIVE, BOUNCE, LPF

 GAIN

ノブのスイープを好きなタイミングで発生させるHOLD機能を使って、LPFをスイープしてみよう。左フットスイッチをホールドしてスイープを始めたなら、好きなところでスイッチを離して動きを止めよう。

複数のノブをランピングさせる場合は、RISEとFALLで反対のセッティングをすることで異なる方向への動きへ設定してみよう。

## Customize



Condorはペダル自体の動作や反応をカスタマイズするための、いくつかのオプションがあります。

### BUFFER

Condorがバイパス時に高品質なバッファを有効にします。オフではトゥルーバイパスとなります。

### MOTOBYP

"モーメンタリーバイパス"です。Condorのバイパスフットスイッチをモーメンタリー動作にし、スイッチを押している間だけエフェクトが有効になります。またはスイッチを押している間だけエフェクトがオフになる動作も可能です。ペダルがオンのときにMOTOBYPスイッチをオンにすればOKです。

## HOLD OPTIONS

- **DRIVE** - DRIVEフットスイッチの機能を変更します。デフォルトの(D)ではフットスイッチはクリアンとドライブを切り替えます。HOLD(H)のときはCondorのランピング機能の制御として動作します。HOLD動作はRESETスイッチで2つのオプションから設定できます。
- **RESET** - HOLD dipスイッチが有効のとき、左フットスイッチを長押し（ホールド）する動作を設定します。機能はランピングが有効時のみ動作します。HOLDポジション (H)ではフットスイッチが長押しされたときのみランピングが動作します。RESETポジション (R)ではフットスイッチが押されるたびにランピングがリセット、長押しで現在のポジションを保持します。

### TRY THIS

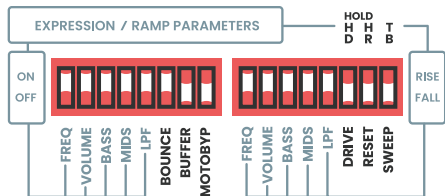
この設定では左フットスイッチを押すたびにフィルタースイープが再スタートします。



次にRESETを(H)に設定してみよう。フットスイッチでスイープを再スタートさせる代わりに、ホールドすることで現在の位置を保持できるようになります。



# Ramping



RampingはCondorのノブをオートメーションさせる機能です。1回だけの動き(ramp)または連続の動き(bounce)から選択できます。

まずはbounceから始めるほうがわかりやすいでしょう。ノブ自身を自動でモジュレーションさせるイメージです。



1. bounceを有効にする。
2. 制御したいノブを選択。(複数可)



SWEEP



MIDS



RAMP

3. スウィープ方向を選択。
4. スピードを設定。



この設定ではミドル帯域のブーストが連続して変化し、Condorがフルオンのモジュレーションペダルとなります。ノブの位置はムーブメントの最大または最小位置(SWEEPの設定により異なります)となるため、重要なセッティングです。

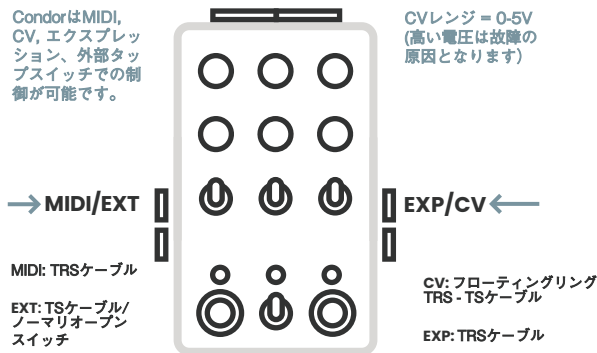
Rampは同じようなコンセプトですが、ペダルをオンにしたとき1度だけムーブメントが起きます。ノブでriseまたはfallポジションを決め、パラメータはその位置を維持します。Condorをオンにするときに、波のような動きをサウンドへ付加できます。

dipスイッチの入門編マニュアルではより詳しく解説しています。

Rampingは、対応するノブのdipスイッチがオンに設定されると同時に開始されます。このときGAINノブの役割は変化し、ランプスピードを制御します。左フットスイッチを押しながらGAINノブを回すと、ランピングが有効中でもGAINを調整できます。

## External Control

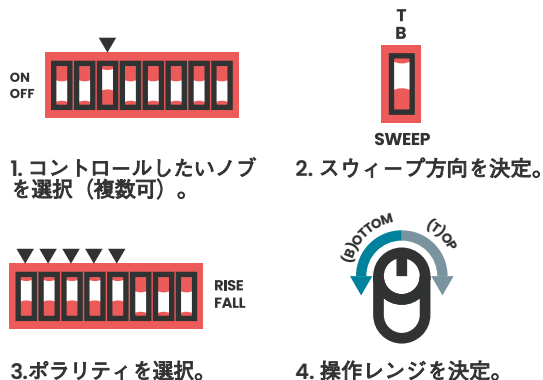
CondorはMIDI, CV, エクスプレッション、外部タップスイッチでの制御が可能です。



Condorのノブはエクスプレッション、またはCVで制御することができます。

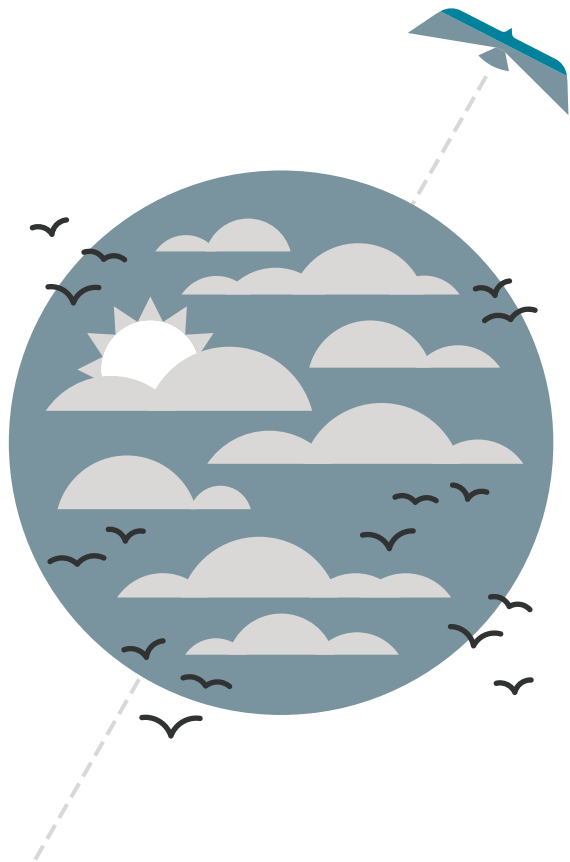
MIDIではペダル上のすべてのノブとトグルスイッチへアクセス可能です。更にプリセットも最大122まで使用できます。

エクスプレッションまたはCVへパラメーター制御を割り当てるには、rampingと同様にペダル上部のdipスイッチで設定します。制御したいパラメーターを有効にしたら、ペダルはエクスプレッション信号かCVを自動的に検知し、コントロールが割り当てられます。



MIDI接続にはMIDI信号を1/4インチTRSジャックへ変換するChase Bliss MIDIBOXなどの機器が必要です。MIDIについての詳しい情報はMIDIマニュアルを参照ください。





## BYE

これでCondorのマニュアルはおしまい。  
今すぐここから飛び立とう。

なにか質問があればいつでもここか、  
[help@chasebliss.com](mailto:help@chasebliss.com)  
国内代理店まで。

いつでもお助けします。

**Have fun!**

# EQ Breakdown

